

Funehiki High School News vol.76

◆進路近況報告

11月18日(月)現在、就職内定率は83.9%に達しました。進学については今が推薦入試の真っ最中です。今回は「進学報告第一弾」として、一足早くA.O.入試で郡山女子大学家政学部食物栄養学科に合格した渡辺愛美さん(都路中出身)の声を紹介します。



Q. 郡山女子大学に進学したいと思ったきっかけは？

A. 私は趣味である料理作りを通して、栄養学について興味を持つようになりました。高校3年生になってからは「将来は管理栄養士として多くの人を支えたい、そのためには大学で専門的な勉強をしたい」と思うようになったため、郡山女子大学への進学を決めました。

Q. 合格に向けてどのような勉強をしましたか？

A. 小論文と面接試験について重点的に準備をしました。特に面接試験については質問内容を想定し、その受け答えをまとめた「面接ノート」を作成した上で、何度も模擬面接に臨みました。

Q. 将来の抱負を聞かせて下さい。

A. 誰からも信頼されるような管理栄養士になることを目標に、国家試験の突破に向けて4年間勉強に励みたいと思います。

◆芸術鑑賞教室を開催

11月1日(金)、市文化センターで芸術鑑賞教室が開催されました。

トランペットやトロンボーンなど管楽器9人によるガールズユニット「東京ブラズスタイル」が奏でるダイナミックな音楽パフォーマンスに、生徒たちは大いに盛り上がっていました。曲の合間には代表生徒がステージに招かれ、初めて触れる楽器の音だしに挑戦する場面もありました。参加型の芸術鑑賞教室に生徒たちも大満足の様子でした。



◆大勢の来場者でにぎわった鵬翼祭

11月2日(土)、3日(日)に公開文化祭「鵬翼祭」が行われました。2日には開祭式に引き続き文化部や有志バンド、各クラスのステージ発表が行われ、3日には各教室やグラウンドなどを会場に展示や模擬店、体験型のアトラクションなどが繰り広げられました。関係者の予想をはるかに上回るお客様にお越しいただき、同文化祭も盛況のうちに幕を閉じることができました。ご来場いただきました地域の皆様、多大なるご協力をいただきましたPTA役員をはじめとする保護者の皆様、物品の借用でお世話になりました商工会、公民館、文化センターなど各種団体の皆様に、この場をお借りして心から御礼申し上げます。

◎ポスターデザイン最優秀賞 岡田裕香さん(2年・船引南中出身)

◎クラス展示・発表部門最優秀賞 3年1組「ゴーストハロウィン」



アメリカのハロウィーン

Eric Engstrom
エリック・イングストロムさん
(アメリカ合衆国
ワシントン州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	6

アメリカでハロウィーンは、秋に最も人気のある祝日の一つです。10月31日がハロウィーンの日で、この日にはたくさんの人たちが互いに「ハッピー・ハロウィーン」と言います。ハロウィーンはふつう家族や友人の間で祝いますが、仕事の同僚などが祝うこともあります。特に子供たちはこの祝日を楽しみます。多くのイベントが市内や町内で行われ、パーティーが人々の家で行われます。ハロウィーンは公の祝日ではないので、公の機関や商店などはいつものように開いていて、公共交通機関はいつものように走っています。

ハロウィーンはヨーロッパで始まった多くの行事のように古い伝統を持っていて、1900年代初めにアメリカに伝わりました。今では、ハロウィーンの日には仮装をしたり、いろいろな種類のお菓子を食べるたりすることが習慣になっています。10月初めから末まで、店はハロウィーンの商品でいっぱいになります。主な商品はキャンディー、コスチューム、装飾品などです。多くの人々が電飾、かぼちゃ、あるいは妖怪やクモのような恐ろしい物で家の中や外を飾りつけて楽しめます。大人たちは仮装パーティーをしたり、ゲームをしたり、ホラー映画を見たりして楽しめます。私の家族はパーティーなどをしませんが、料理を作ってお客様を招いたりしました。母は料理が好きで、秋になるとパイやスープを作ってくれます。秋に食べる最も人気のある食べ物は、りんごやかぼちゃなどです。母はとてもおいしいパンプキン・パイやアップル・パイを作りました。

ハロウィーンの夜、子供たちは仮装をして、近所の家を1軒1軒訪ね、家ごとにキャンディーをもらいます。近所の人たちは子供たちにキャンディーをあげ、子供たちは持ってきたバッグや籠にそれを入れます。私も子どもの時は、仮装してキャンディーをもらいに近所の家に行くのが楽しみでした。私はカウボーイや海賊などに仮装するのが好きでした。妹はお姫様か猫に仮装することが好きでした。両親は私たちが近所を回る時に一緒について来てくれました。家に帰ると、もってきたキャンディーを全部テーブルの上に広げて数えました。しかし、両親はキャンディーを一日に3つ以上食べるのを許してくれませんでした。それは、私が初めてハロウィーンの日キャンディーをもらってきた時、ほとんど全部のキャンディーをその日のうちに食べてしまって体の具合が悪くなったからです。

ハロウィーンの季節には他にも楽しいことがあります。私の家族は「とうもろこし迷路」に行くことが好きでした。とうもろこし迷路は、広いとうもろこし畑に作られます。畑を所有する農夫がトラクターでとうもろこしを刈って迷路を作ります。スタートからゴールまで迷わないように歩きます。とうもろこし迷路は入園料が安くて楽しいので、私の家族は好きでした。

ハロウィーンに私が家族と一緒に楽しんだもう一つの事は、ジャック・オー・ランタンを作ることでした。ジャック・オー・ランタンは、かぼちゃに顔を彫ったものです。最初にかぼちゃのてっぺんに穴を開けて中身を出し、それから顔を彫って中にろうそくを入れます。夜、暗くなるとジャック・オー・ランタンは本当に面白く見えます。

今年は日本でハロウィーンを迎えます。友人と一緒に秋の季節を祝うのが楽しみです。日本には、私の大好きなたくさんのおいしい秋の食べ物があるからです。

